

老朽化した一群の施設等の質的向上に関する試行的検証について (外部パブリックスペース整備事業)

1. 趣旨

○有識者会議報告書^{※1}を受け、一群の建物（隣接する建物）・外部パブリックスペース（以下、一群の施設等という）の質的向上を段階的に進め、それらを連鎖させてキャンパス全体の価値を高めていくことを検討する。

※1 「キャンパスの創造的再生～社会に開かれた個性輝く大学キャンパスを目指して」（平成 25 年 3 月）

○平成 27 年度国立大学法人等施設整備においては、平成 26 年度同様に、試行的検証の実施を検討する^{※2}。

※2 これまで、国立大学法人等施設整備費の平成 25 年度補正予算及び平成 26 年度予算において、3 事業を採択（別添参照）しているところ。

2. 試行的検証の内容

平成 27 年度において、個々の施設整備事業（新增改築・改修事業のうち、単年度事業を対象）の整備に際し、併せて老朽化した外部パブリックスペースの質的向上整備を実施（以下「外部パブリックスペース整備事業」という。）することにより、①個々の施設整備事業、②一群の施設等において教育研究上の効果等^{※3}の向上が見込まれる場合、その効果等を試行的に検証するため、「外部パブリックスペース整備事業」について実施することを検討する。

※3 一群の施設等で計画することにより見込まれる教育研究上の効果等とは、学生・教職員・学外関係者のディスカッション・発信による知的創造活動の活性効果などの教育研究上の効果に加え、防災上の効果、地球温暖化対策の効果を含む。

3. 要求上の留意点

○各法人が外部パブリックスペース整備事業を要求する場合は、一体的に実施する新增改築・改修事業と別事業として要求する（優先度は同じものとする）。

（例 AO-O-1：一体的に実施する新增改築・改修事業、AO-O-2：外部パブリックスペース整備事業）

○「新增改築・改修事業」と同様に、「1. 大学等の戦略との整合性等」、「2. 事業規模や費用等の適正性」、「3. 教育研究等への効果」、「4. 環境負荷低減のための取組」、「5. 安全・安心の確保」の項目全てを評価の対象とする。

老朽化した一群の施設等の質的向上に関する試行的検証について

～外部パブリックスペース整備事業(平成25年度補正予算及び平成26年度予算)～

一群の建物・外部パブリックスペース（以下、一群の施設等という）の質的向上を段階的に進め、それらを連鎖させてキャンパス全体の価値を高めていくことを検討するため、3事業を採択。

【①3事業の視点】

- 一群の施設等に機能的なつながりを持たせ、内外を一体的利用すること等により、教育研究活動の一層の活性化が見込まれる計画
- 外部P Sの計画を工夫し、一群の施設等に人を呼び込み、教育研究活動の一層の活性化が見込まれる計画

【②取組の内容】

（東京海洋大学）

水産資料館と外部P Sを一体的に改修整備することにより、隣接する附属図書館等とも有機的につながることで、水産資料館と附属図書館の連携による共同企画展等が展開できる場を形成する。

（金沢大学）※図1参照

医学教育研究棟と外部P Sを一体的に改修整備することにより、周辺施設との連携を強化して、貴重資料の発信、自学自習の促進、講演の開催等が行える交流空間を形成する。

（島根大学）

講義棟と外部P Sを一体的に改修整備することにより、隣接する実習棟とのつながりができ、上級生と下級生間との交流空間を形成するとともに、講義棟1階に国際交流プラザを設置して、外部P Sも活用した英語教育や留学生交流等を展開できる場を形成する。

図1：金沢大学（宝町）総合研究棟改修II（医学系）

